

政策体系	政策No.	5	政策名	たすけあい支えあうまちづくり			施策主管課	保健福祉政策課		
	施策No.	2	施策名	こころと身体 の健康づくりの推進	重点施策		施策主管課長名	徳田 忍		
施策関係課名	保険年金課、子育て支援課、長寿・障害福祉課、健康増進課、保健体育課、生涯学習課									
1 基本計画期間(平成25年度～平成29年度)における施策の方針										
<p>■「健康きりしま21(第2次)」及び「霧島市食育推進計画(第2次)」に基づき、市民が健康で生きがいのある生活を送ることができるように、市民と行政が一体となった取組を行い、個人及び地域での健康づくり活動を推進する。</p> <p>■市民の健康意識の向上と健康づくり活動の実践により、健康の保持増進、疾病の予防・早期発見・早期治療・重症化防止を図る。</p>										
2 施策の目的と成果把握										
① 対象 (この施策は、誰、何を対象としているのか)		市民								
② 対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
A	人口	人	見込み値	129,368	128,362	128,861	129,360	129,679	130,000	
			実績値	127,475	127,283	126,773	126,962			
B			見込み値							
			実績値							
C			見込み値							
			実績値							
③ 意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)		こころと身体が健康になる								
◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%～105%未満) △目標を未達成(95%未満)										
④ 成果指標 (意図の達成度を表す指標)		単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
A	心身共に健康であると感じている市民の割合	%	成り行き値	67.1	66.9	66.7	66.5	66.3	66.1	
			目標値	69.5	69.5	70.7	71.9	73.1	74.3	
			実績値	64.8	64.8	66.3	67.4			
			達成率	93%	93%	94%	94%			
			結果	△	△	△	△			
B	日頃から何か健康管理を行っている市民の割合	%	成り行き値	90.4	92.7	92.5	92.3	92.1	91.9	
			目標値	94.3	91.9	92.3	92.7	93.1	93.6	
			実績値	91.0	89.9	89.4	88.0			
			達成率	97%	98%	97%	95%			
			結果	○	○	○	○			
⑤ 成果指標の測定方法 (実際にどのように実績を把握するか)				⑥ 平成29年度の目標値設定の考え方						
<p>A 心身共に健康であると感じている市民の割合 ※総合計画進行管理に係る市民意識調査</p> <p>B 日頃から何か健康管理を行っている市民の割合 ※総合計画進行管理に係る市民意識調査</p>				<p>A 「心身共に健康であると感じている市民の割合」については、市民意識調査で「心身ともに健康であると感じている」と回答した市民の割合が平成21年度から平成23年度までの間に年平均約1.2ポイントずつ増加しており、今後も健康霧島21(第2次)」等に基づき各種事業を実施することから、同程度で推移すると見込まれるため、74.3%を目標値とする。</p> <p>B 「日頃から何か健康管理を行っている市民の割合」については、市民意識調査で「自分の健康のために、何か心がけていることがある」と回答した市民の割合が、平成19年度から平成23年度までほぼ同率で推移していることを踏まえ、疾病の早期発見や予防、生活習慣の改善など健康増進の取組の重要性に照らし、健康意識が最も高かった40歳代の93.6%を目標値とする。</p> <p>C</p> <p>D</p> <p>E</p> <p>F</p>						

3 基本計画期間で解決すべき施策の課題(総合計画書より)

- 若い頃から、生活習慣病予防や健康づくりについて理解してもらう必要がある。
- 心の健康づくり施策(自殺予防対策等)については、地域ぐるみで取り組む必要がある。
- 医療費の抑制につながるような健康づくりを推進する必要がある。
- 健康生きがいづくり推進モデル事業の継続的な取組や健康講座の充実を図るとともに、地域での健康づくり環境を整備し、市民が健康づくりに積極的に取り組むことができるように支援する必要がある。
- 事業所等が行っている健康づくり活動については、「健康きりしま21(第2次)」等の策定作業において現状把握を行い、連携した活動を展開していく必要がある。
- 「霧島市食育推進計画(第2次)」に基づき、家庭・地域・事業所・学校等のあらゆる場で食育推進を図るため、関係機関、NPO団体等と連携していく必要がある。

4 施策の特性・状況変化・住民意見等

① この施策の役割分担をどう考えるか(協働による市民と行政の役割分担)

ア)行政の役割 (市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)	イ)市民(住民、事業所、地域、団体等)の役割
<ul style="list-style-type: none"> ■市 <ul style="list-style-type: none"> ・市の健康増進計画「健康きりしま21(第2次)」に基づき、各種保健事業の実施や、健康増進関連団体等との連携を図り、主体的な市民の参加を進めるための環境整備に努める。 ■県 <ul style="list-style-type: none"> ・県の健康増進計画「健康かごしま21」に基づき、市町村、健康増進関連団体と連携を図り、健康づくりを推進する。 ■国 <ul style="list-style-type: none"> ・国の健康増進計画「健康日本21」の基本理念、基本方針を示し、地方公共団体等と連携を図り、普及啓発、計画の評価、見直し等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■住民 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域において健康な生活習慣を身につけ、疾病の予防や早期発見、健康増進に努め、生涯にわたって自分の健康管理を行う。 ■保育園、幼稚園、小・中・高等学校 <ul style="list-style-type: none"> ・行政や健康増進関連団体と協働しながら幼少期からの食育等の推進など生活習慣病の予防に努める。 ■事業所 <ul style="list-style-type: none"> ・事業場の安全衛生管理体制を整え、従業員の健診や健康教育を実施し、生活習慣病などの予防に努める。 ■地域・健康増進関連団体 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の健康づくり活動を推進するために、行政と連携し住民の健康づくりを支援する。

② 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化しているか、更に今後どう変化するか?

- 更に高齢化が進むことから、生活習慣病の増加や重症化により医療費の増大が予想される。

③ この施策に対して市民(対象者、納税者、関係者等)、議会からどのような意見や要望が寄せられているか?

【健康生きがいづくり推進協議会からの意見】

- 歯科保健事業について、フッ素洗口事業や歯周病予防の事業充実を今後も図ってほしい。
- マイレージ事業を活用して、健康意識の低い人たちへの啓発を図ってほしい。
- がん検診の受診率向上のため、各種団体等と連携した取り組み等も検討してみてもどうか。

5 施策の現状

① 平成27年度施策の取組方針	② 平成27年度施策の取組方針の達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ■生活習慣病予防や健康づくりについては、学童期から理解してもらう必要があるため、学校、事業所等と連携し、健康教育等を行う。 ■健康生きがい推進モデル事業などを活用し、心の健康づくり(自殺予防対策等)の啓発・普及を図り、地域ぐるみでの声かけや見守りを推進する。 ■生活習慣病予防のため、特定健診等の受診率・特定保健指導の実施率の向上及び疾病の重症化予防に取り組み、医療費の抑制につなげる。 ■健康生きがいづくり活動の継続的な取組や健康講座の充実を図り、地域での健康づくりを支援する。 ■「霧島市食育推進計画(第2次)」に基づき、関係機関やNPO団体等と連携し、家庭・地域・事業所・学校等のあらゆる場での食育推進を図る。 ■感染症の蔓延予防のため、子どもの予防接種についての普及啓発を行い、定期予防接種の接種率の向上に努める。 ■歯の健康に関する知識の普及を図り、むし歯予防や歯周疾患予防に努める。 ■健康づくりの意識啓発のため、健康マイレージ事業に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ■生活習慣病予防や健康づくりについては、学校保健会において保護者に対し、講話を行った。また、市内事業所と連携し、健康教育及び相談を行った。 ■自殺予防のための心の相談の実施や、市民向け講演会、関係者向けの研修会を実施した。 ■生活習慣病予防のため、特に糖尿病と高血圧の重症化予防に取り組んだ。 ■健康生きがいづくり活動の継続的な取組や健康講座の充実を図り、地域での健康づくりの支援に努めた。 ■食の祭典in霧島で、関係機関やNPO団体等と連携し、霧島の食材の紹介や野菜の摂取促進の呼びかけを行ったほか、あらゆる場での食育推進を図った。 ■感染症の蔓延予防のため、子どもの予防接種についての普及啓発を行い、定期予防接種の接種率の向上に努めた。 ■歯の健康に関する知識の普及を図り、むし歯予防や歯周疾患予防に努めた。 ■健康づくりの意識啓発のため、健康マイレージ事業の対象事業の拡大やFMきりしまでの広報等に取り組んだ。

③ 平成27年度施策の目標値と実績値の比較

- 目標達成 ◎ 105%以上
- 目標をほぼ達成 ○ 95%~105%未満
- 目標を未達成 △ 95%未満

平成27年度成果指標			
	目標値	実績値	達成率
A	71.9	67.4	94.0%
B	92.7	88.0	95.0%
C			
D			
E			
F			

④ 平成27年度施策の成果指標の達成状況及び要因

A 「心身共に健康であると感じている市民の割合」については、目標値には及ばなかったが、昨年度実績値に対しては、1.1ポイント増加した。また、30歳代については減少したものの、40歳代と50歳、65歳から69歳の割合は増加した。

B 「日頃から何か健康管理を行っている市民の割合」については、目標値には及ばず、また実績値についても昨年度より減少したが、概ね達成できた。

⑤ 基本事業の

目標達成度

(平成27年度目標と実績との比較)

○=すべての目標値を達成 △=一部の目標値を達成 ×=すべての目標値を未達成

① 市民の健康意識の向上	○	⑤
② ころと身体の健康管理の実践・支援	△	⑥
③ 健康づくり活動がしやすい社会環境づくり	△	⑦
④ 食育の推進	△	⑧

6 平成28年度の施策の取組方針 (昨年度マネジメントシートより)

- 疾病の早期発見を目的とした各種健(検)診の実施やメタボリック症候群の予防等、保健事業を実施する。
- 自殺予防対策や心の健康相談を実施し、心身ともに健康で生きがいのある生活を送ることができるように支援する。
- 生活習慣病予防のため、特定健診等の受診率・特定保健指導の実施率の向上及び疾病の重症化予防に取り組み、医療費の抑制につなげる。
- 地域で健康づくりを日常的進めるよう事業の検討を関係課と行う。
- 家庭、地域、事業所、学校等のあらゆる場で、各年代に応じた食育を推進する。
- 感染症の蔓延予防のため、予防接種についての普及啓発を行い、定期予防接種の接種率の向上に努める。
- 歯の健康に関する知識の普及を図り、むし歯予防や歯周疾患予防に努める。
- 健康づくりの意識啓発のために実施している健康マイレージ事業の事業内容について検討を行う。
- 健康さりしま21(第3次)の策定に向けた基礎調査を実施する。

7 平成29年度に向けた施策の課題・方向性

- 疾病の早期発見を目的とした各種健(検)診の実施やメタボリック症候群の予防等、保健事業を実施する。
- 自殺予防対策や心の健康相談を実施し、心身ともに健康で生きがいのある生活を送ることができるように支援する。
- 生活習慣病予防のため、特定健診等の受診率・特定保健指導の実施率の向上及び疾病の重症化予防に取り組み、医療費の抑制につなげる。
- 地域ぐるみの健康づくりができるよう支援する。
- 感染症の蔓延予防のため、予防接種についての普及啓発を行い、定期予防接種の接種率の向上に努める。
- 歯の健康に関する知識の普及を図り、むし歯予防や歯周疾患予防に努める。
- 健康づくりの意識啓発のために新たな健康マイレージ事業を推進する。
- 健康さりしま21(第3次)の計画策定を行う。
- 国の第3次食育推進基本計画に基づいた霧島市食育推進計画(平成30年度～)を作成する。

基本事業No.	5-2-1	基本事業名	市民の健康意識の向上	基本事業 主担当課	健康増進課
---------	-------	-------	------------	--------------	-------

1 基本事業の目的、取組み方針

①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）
 ■本市の健康づくり推進の基本的な方向性を定めた「健康きりしま21（第2次）」を推進し、市民の健康意識の向上や知識の普及のため、市民健康講座や広報誌による継続的な情報提供に努める。

②対 象	市民	③意 図	自身の健康について関心を持ち、健康づくりのための知識を身に付ける
------	----	------	----------------------------------

2 基本事業の指標等の推移 ◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)

①成果指標名		単 位	②成果指標の測定方法	③数値 区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (目標年度)
A	栄養・運動・休養を心がけている市民の割合	%	市民意識調査	成り行き値	21.0	19.5	19.5	19.5	19.5	19.5
				目標値	30.0	19.5	19.9	20.3	20.7	21.1
				実績値	20.5	21.3	19.3	19.5		
				達成率	68%	109%	97%	96%		
				結果	△	◎	○	○		

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠

A 栄養、運動、休養を心がけている市民の割合は、平成23年度の実績値19.1%を基準として、毎年度0.4%ずつ増加していくと見込み、平成29年度の目標値を21.1%と設定した。

4 平成27年度基本事業の取組方針 **5 平成27年度基本事業の取組方針の達成状況**

市民の健康意識の向上や知識の普及のため、市民健康講座や広報誌等による継続的な情報提供に努める。特に、メタボリックシンドロームやCOPD（慢性閉塞性肺疾患）の予防に取り組む。	市民の健康意識の向上や知識の普及のため、市民健康講座の開催や広報誌、FMきりしまによる継続的な情報提供に努めた。 また、保健指導によるメタボリックシンドローム、市民健康講座によるCOPD（慢性閉塞性肺疾患）の予防に取り組んだ。
--	--

6 平成27年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因

A 栄養、運動、休養を心がけている市民の割合は、19.5%で昨年度と比較して0.2ポイント上回り、目標を概ね達成できた。
 栄養、運動、休養を心がけている割合を年齢別にみると、60歳以上の割合は高いものの、18歳から59歳の割合が低くなっている。18歳から59歳の割合の中でも特に「運動」に関する回答が低いことが見受けられる。

7 平成28年度基本事業の取組方針 **8 平成29年度に向けた基本事業の課題・方向性**

市民の健康意識の向上や知識の普及のため、市民健康講座や広報誌等による継続的な情報提供に努める。 健康づくりの意識啓発のために実施している健康マイレージ事業の事業内容について検討を行う。	市民の健康意識の向上や知識の普及のため、市民健康講座や広報誌等による継続的な情報提供に努める。
---	---

基本事業No.	5-2-2	基本事業名	ところと身体の健康管理の実践・支援	基本事業 主担当課	健康増進課
---------	-------	-------	-------------------	--------------	-------

1 基本事業の目的、取組み方針

①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 疾病の早期発見を目的とした各種健康診査やメタボリック症候群の予防など、各年代層に応じた保健事業を実施する。また、自殺対策や心の健康相談を実施し、心身ともに健康で生きがいのある生活を送ることができるように支援する。 ■ 感染症の蔓延予防のため、予防接種率の向上に努める。 	
②対象	市民
③意図	ところと身体の疾病予防、早期発見、早期治療、健康増進のための健康管理ができるようになる

2 基本事業の指標等の推移 ◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)

①成果指標名	単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (目標年度)
				成り行き値	47.0	47.0	47.0	47.0	47.0
A 健診を受診した市民の割合	%	健診実績 ※特定健診(法定報告より)	目標値	65.0	49.6	52.2	54.8	57.4	60.0
			実績値	46.7	48.4	48.6	48.7		
			達成率	72%	98%	93%	89%		
			結果	△	○	△	△		
B ところの持ち方に気をつけている市民の割合	%	市民意識調査	成り行き値	44.5	44.1	44.1	44.1	44.1	44.1
			目標値	52.0	44.8	45.5	46.2	46.9	47.8
			実績値	42.2	43.8	43.9	39.0		
			達成率	81%	98%	96%	84%		
結果	△	○	○	△					
C 予防接種率	%	予防接種実績 ※三種・四種混合、二種混合、麻しん・風しん混合(1期・2期)	成り行き値	77.0	78.0	78.0	78.0	78.0	78.0
			目標値	84.0	86.2	88.4	90.6	92.8	95.0
			実績値	77.5	84.1	84.8	87.7		
			達成率	92%	98%	96%	97%		
結果	△	○	○	○					
D *成果指標のBとCは、平成21年度から設定した。			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
			達成率						
結果									

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠

A 健診を受診した市民の割合は、国の第2期特定健康診査の実施計画に基づき平成29年度の目標値を60%と設定し、平成24年度以降、年2.6%ずつの成果向上を図ることとした。成り行き値は、直近3年の伸び率(1.5%)を勘案して平成24年度を47%と見込み、後年度は同率で推移すると推測した。

B ところの持ち方に気をつけている市民の割合は、平成23年度の市民意識調査の結果、年代区分で最も割合が高かった65歳~69歳の47.8%を目標値として設定した。若い年代のところの健康づくり支援を取り組むことで改善を図る。

C 予防接種率は、感染を防ぐには95%の接種率が必要であるという国の目標値に合わせて、平成29年度の目標値を95.0%と設定し、感染症の蔓延予防のために子どもの定期予防接種の未接種者に接種勧奨を行うことなどにより、毎年度2.2%ずつの伸びを見込んだ。

4 平成27年度基本事業の取組方針

- 疾病の早期発見を目的とした各種健(検)診の実施やメタボリック症候群の予防等、保健事業を実施する。
- 自殺予防対策や心の健康相談を実施し、心身ともに健康で生きがいのある生活を送ることができるように支援する。
- 感染症の蔓延予防のため、予防接種率の向上に努める。

5 平成27年度基本事業の取組方針の達成状況

- 市民が集まる機会を捉えて受診勧奨に努めた結果、特定健診の受診率は0.1ポイント増加した。がん検診については胃がん検診、大腸がん検診、子宮がん検診、乳がん検診の受診率が増加した。生活習慣病の予防や重症化予防のために、検診の事後指導や、特定保健指導を実施し生活改善が図られるように努めた。
- 自殺予防のための心の相談の実施や市民向け講演会、関係者向けの研修会を実施した。
- 感染症の蔓延予防のために、機会を捉えて接種勧奨を行い予防接種率の向上に努めた。

6 平成27年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因

A 「特定健診」の実績値については、前年度より0.1ポイント増加したが、目標値に対して6.1ポイント及ばなかった。要因としては、40歳~64歳の受診率が36.9%と前年度より減少していることから、特に40~64歳の年代への周知啓発が足りなかったのではないかと考えられる。

B 「ところの持ち方に気をつけている市民の割合」については、前年度に比べ、4.9ポイント減少し、目標値に対して7.2ポイント及ばなかった。年代別にみてみると50歳以上の年代全てにおいて前年度より減少していることが要因と考えられる。

C 「予防接種率」については、昨年度より、2.9ポイント上昇し、概ね目標を達成できた。小児科医の協力もあり、保護者の予防接種に対する理解度が上がったことで、乳児期の接種率が上昇したことが要因としてあげられる。

7 平成28年度基本事業の取組方針

- 疾病の早期発見を目的とした各種健(検)診の実施やメタボリック症候群の予防等、保健事業を実施する。
- 心の健康相談や講演会の開催などの自殺予防対策に取り組み、心身ともに健康で生きがいのある生活を送ることができるように支援する。
- 感染症の蔓延予防のため、予防接種率の向上に努める。

8 平成29年度に向けた基本事業の課題・方向性

- 疾病の早期発見を目的とした各種健(検)診の実施やメタボリック症候群の予防等、保健事業を実施する。
- 心の健康相談や講演会の開催などの自殺予防対策に取り組み、心身ともに健康で生きがいのある生活を送ることができるように支援する。
- 感染症の蔓延予防のため、予防接種率の向上に努める。

基本事業No.	5-2-3	基本事業名	健康づくり活動がしやすい社会環境づくり	基本事業 主担当課	健康増進課
---------	-------	-------	---------------------	--------------	-------

1 基本事業の目的、取組み方針

①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）	
<ul style="list-style-type: none"> ■健康づくり活動を行うボランティアやNPO団体等の活動を支援し、互いに連携を図りながら、市民参画による健康づくりを推進する。 ■公民館講座などを充実し、健康生きがいづくりを支援する。 ■市民が楽しみながら健康づくりに取り組み、住み慣れた地域で触れ合いながら地域ぐるみの健康づくりができるよう支援する。 	
②対象	・市民、保健医療機関、地域・家庭、事業所、ボランティア団体、教育関係機関など
③意図	健康づくりに取り組みやすい環境が整う

2 基本事業の指標等の推移 ◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)

①成果指標名		単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (目標年度)
A	社会福祉、健康づくりの地域活動に参加している市民の割合	%	市民意識調査	成り行き値	4.1	14.2	14.2	14.2	14.2	14.2
				目標値	6.0	16.2	17.2	18.2	19.2	20.0
				実績値	12.6	14.9	11.7	10.2		
				達成率	210%	92%	68%	56%		
				結果	◎	△	△	△		
B	健康生きがいづくり推進モデル事業に取り組んでいる地区自治公民館の数	地区	健康生きがいづくり推進モデル事業の実績	成り行き値	67	71	82	57	36	71
				目標値	82	89	82	57	36	18
				実績値	70	89	82	57		
				達成率	85%	100%	100%	100%		
				結果	△	○	○	○		

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠

A 「社会福祉、健康づくりの地域活動に参加している市民の割合」は、徐々に増加しており、平成29年度の目標値は今後も増加傾向にあると見込み、市民意識調査の年代区分のうち65歳～69歳の20.0%を目標値として設定した。
 B 「健康生きがいづくり推進モデル事業」は、地区自治公民館を実施主体とし、5年を計画期間として取組を進めている。このことから、すべての地区が5年間取り組むよう各年度対象地区数を目標値として設定した。

4 平成27年度基本事業の取組方針 **5 平成27年度基本事業の取組方針の達成状況**

<ul style="list-style-type: none"> ■市民参画による健康づくりを推進するため、健康づくり活動を行うボランティア団体等の活動を支援する。 ■市民が住み慣れた地域で触れ合いながら地域ぐるみの健康づくりができるよう、健康生きがいづくり事業等を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■健康運動普及推進員や食生活改善推進員の円滑な活動を支援することで、市民の健康づくりを推進した。 ■健康生きがいづくり推進モデル事業の1回当たりの平均参加者数は、平成26年度は50.3人に対し平成27年度は51.6人と増加している。
--	---

6 平成27年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因

A 「社会福祉、健康づくりの地域活動に参加している市民の割合」については、昨年度の実績値と比較すると1.5ポイント減少し、目標値にも8ポイント及ばなかった。年代別では、60歳代の割合が前年度と比較して増加したものの、それ以外の年代では全て減少している。地区別では、横川・牧園・霧島・福山の4地区では増加しているが、国分・溝辺・隼人の3地区では減少している。
 B 「健康生きがいづくり推進モデル事業」については、26年度までに取組みを終了した32地区を除く57地区自治公民館で実施された。

7 平成28年度基本事業の取組方針 **8 平成29年度に向けた基本事業の課題・方向性**

<ul style="list-style-type: none"> ■市民参画による健康づくりを推進するため、健康づくり活動を行う健康運動普及推進員や食生活改善推進員等の活動を支援する。 ■市民が住み慣れた地域で触れ合いながら地域ぐるみの健康づくりができるよう、健康生きがいづくり事業等を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■市民参画による健康づくりを推進するため、健康づくり活動を行う健康運動普及推進員や食生活改善推進員等の活動を支援する。 ■健康生きがいづくり事業を終了した地域において、市民が住み慣れた地域で触れ合いながら、地域ぐるみの健康づくりができるよう支援する。
--	--

基本事業No.	5-2-4	基本事業名	食育の推進	基本事業 主担当課	健康増進課
---------	-------	-------	-------	--------------	-------

1 基本事業の目的、取組み方針

①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）	
<ul style="list-style-type: none"> ■「霧島市食育推進計画（第2次）」に基づき、家庭、地域、事業所、学校等のあらゆる場で、各年代に応じた食育を推進する。 ■食生活改善推進員の活動を推進するとともに、学校、生産者、NPO団体等との連携を図る。 	
②対象	市民
③意図	正しい食生活の意識を持ち実践することができる

2 基本事業の指標等の推移 ◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)

①成果指標名		単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (目標年度)
A	朝食を毎日摂っている市民の割合	%	市民意識調査	成り行き値	78.8	83.6	83.6	83.6	83.6	83.6
				目標値	85.0	84.2	84.4	84.6	84.8	85.0
				実績値	85.6	84.8	83.9	81.6		
				達成率	101%	101%	99%	96%		
				結果	○	○	○	○		
B	地域や職場で健康や栄養に関する学習の場に参加した市民の割合	%	市民意識調査	成り行き値	30.1	33.2	33.2	33.2	33.2	33.2
				目標値	34.0	34.8	35.6	36.4	37.2	38.0
				実績値	35.4	35.2	34.5	30.6		
				達成率	104%	101%	97%	84%		
				結果	○	○	○	△		

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠

A 朝食を摂っている市民の割合は、平成24年度の実績値を84.0%と推測し、これを基準に毎年度0.2%ずつ増加すると見込んで、最終年度の目標値を85.0%とした。成り行き値は平成23年度の実績値で推移すると想定した。
 B 学習の場に参加した市民の割合は、平成23年度の実績値を基準に、平成23年度までの過去5年間の年平均伸び率が0.8%であったことから、今後も毎年度0.8%ずつ増加していくと見込み、平成29年度の目標値を38.0%と設定した。成り行き値は平成23年度の実績値とした。

4 平成27年度基本事業の取組方針

- 歯の健康に関する知識の普及を図る。
- 家庭、地域、事業所、学校等のあらゆる場で、各年代に応じた食育を推進する。
- 学童期からの生活習慣病予防や健康づくりを進めるために、学校を中心に食生活改善推進員と連携した取り組みを行う。

5 平成27年度基本事業の取組方針の達成状況

- 離乳食教室や、母子健診、歯周疾患健診等で歯の健康に関する知識の普及を図った。
- 保育所食育支援事業(1園、50名参加)を実施し、園児を対象に「野菜と仲良くなろう」をテーマに五感で味わって食べる楽しさ、おいしさを体験してもらった。健康づくりの講演会の際、野菜の摂取促進を目的に、1日に必要な野菜の計量体験や野菜料理の紹介を行った(1回、300名参加)。食の祭典in霧島で、霧島の食材の紹介や野菜の摂取促進の呼びかけを行った(2日間、28,000名参加)。健康福祉まつりにおいて、食生活改善推進員による霧島の食材や手軽にとれる朝食メニューとしての茶節の紹介、きりしま版食事バランスガイドや日本型食生活の紹介を行った(1回、850名参加)。
- 学校では、食への興味・関心を深めてもらうために、学校栄養教諭による食に関する授業等を行った。

6 平成27年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因

A、目標値については概ね達成しているが、18~29歳の若い世代において「朝食をほとんど食べない」人の割合が10%を上回り、朝食摂取率が他の世代にくらべてかなり低くなっている。
 B 地域や職場で健康や栄養に関する学習の場に参加した市民の割合は、各世代で昨年度より下がっている。特に30歳代以下の不参加の割合が高い。

7 平成28年度基本事業の取組方針

- 歯の健康に関する知識の普及を図る。
- 家庭、地域、事業所、学校等のあらゆる場で、各年代に応じた食育を推進する。
- 欠食のない規則正しい食生活(早寝・早起き・朝ごはん)の推進を年間目標として、各関係団体と連携して取り組む。
- 食生活改善推進員の増員を図り、各地域の活動を活性化させる。特に会員数の少ない地区の会員増に取り組む。

8 平成29年度に向けた基本事業の課題・方向性

- 歯の健康に関する知識の普及を図る。
- 家庭、地域、事業所、学校等のあらゆる場で、各年代に応じた食育を推進する。
- 平成29年度の推進目標「食を通じたコミュニケーション豊かな食生活の推進」に合わせて事業内容を検討し、食育に関連した事業の参加人数を増やす。